

2月20日

2017年
(平成29年)

月曜日

第18776号(日刊)

土、日曜・祝日は休刊

Metal & Technology

鉄鋼新聞

全構協青年部会 JSCA東北 胴縁テーマに意見交換



互いの知識で新たな発見を得た①と成果発表

良質な建築物の提供に向け、構造設計と鉄骨製作の技術者交流を深める

全国鉄構工業協会青年部会東北ブロック(平賀明会長)と日本建築構造技術者協会東北支部(JSCA東北、加藤重信支部長)はこのほど、共催で「鉄骨建物の設計施工問題意見交換会」を仙台市のエルパーク仙台で開催した。3回目となる今回は「基本的な胴縁ディテール」をテーマに、ワークショップを行い相互理解を深めた。



目的で2014年度から実施。当日は両団体から50人が参加し、冒頭、加藤支部長が「異なる視点を持つ技術者同士が意見交換を重ねることにより成果が生まれる。本日も有意義な時間にしてほしい」と挨拶した。平賀会長は「構造設計者と鉄骨ファブは鉄骨製作に

おける車の両輪。どちらが欠けても良質な建築物は建たず、両者の連携は極めて重要。交流を深め、よりよい製品を提供し、東北の発展につなげた」と述べた。

ワークショップは8つの混成チームに分かれ、70分の持ち時間で実施した。胴縁の環境条件を平屋外の鉄骨製作工場、外壁、内側のボードなどの仕上げなしとし、実際にC型形鋼や角パイプを手に取りながら標準図を基に「腰壁上部の納まりのスケッチ提案」「サッシ周りの納まりのスケッチ提案」「胴縁の塗装仕様とその選定理由の提示」の3つの課題を検討。その後各チームが成果発表し、それを基に活発な質疑応答が行われた。